

平成16年度末期～17年度通年で九州大学が着手あるいは遂行すべき重要事項

・大学全体

- 1．教育：専門職大学院「実践臨床心理学専攻」スタート
- 2．研究：研究スーパースター支援の継続と充実、戦略的研究拠点の構築
- 3．社会連携：組織対応型産学連携の拡大と国際版産学連携組織の拡充
- 4．国際交流：国際交流拠点（海外オフィス、海外研究センター、国際同窓会）の拡充と海外活動成果の具現化
- 5．新キャンパス：工学研究院（機械・航空、化学・材料部門）の移転開始（10月）
- 6．構造改革：大学資源（教職員、運営費交付金）の拡大・拡充と有効活用の制度設計
- 7．広報・情報政策：100周年記念事業スタート
- 8．財務労務：財務会計システムの効率向上

・各担当理事関係

1．研究・企画

- 1) 中期目標・計画の年度計画実施状況の点検評価への対応：(1)法人評価、(2)認証評価
- 2) 大学評価情報の強化と管理運営への応用：(1)教職員の個人評価システムの完成、(2)管理運営情報システムの新設、(3)部局の管理運営の点検と改善
- 3) 財務戦略の遂行：(1)財務体質の改善、(2)資金導入の方策強化、(3)予算執行の適正化（経費の削減）
- 4) 教学組織の戦略的強化：(1)「5年10年」ルール、(2)21COE拠点形成、(3)新構想による「センター等」設置
- 5) 研究戦略の遂行：(1)スーパースターの精査とクラスタリングの継続実施、(2)人材育成、(3)中央情報の収集・分析と政策提案活動

2．教育・学生支援

- 1) 学部教育新カリキュラムの試行導入：(1)専門性を確保しつつ、学際的新領域への発展をめざすカリキュラム編成、(2)グローバル化に対応した語学・国際化教育、(3)従来型の教室授業に留まらない弾力的な履修課程編成

学部教育 - 21世紀チャレンジプログラム：(1)履修課程の弾力化（21プロ構想中からの課題）、(2)卒業認定の多様化（コース複線化）、(3)外国語教育の強化、(4)教育国際化の推進（短期留学の促進）、(5)学外体験学習の推進と単位認定、(6)履修

認定の規格基準化（グレートポイント：GPA）（7）修学指導体制の全学的実質化
（アカデミックアドバイザー：チューター）

- 2）大学院教育システムの実質化：（1）教育成果目標を明示したカリキュラム編成の徹底、（2）専門性に加えて発展的領域横断的なコース課程の導入、（3）共通課程の設定（知財・倫理・環境・国際・コミュニケーションなど）
- 3）移転開始に伴う、教育学習環境の整備構想：（1）新キャンパスにおける21世紀型学習環境の実現、（2）全学的なキャンパス連携体制の再構築
- 4）学生生活支援の整備充実：（1）七大学体育大会での勝利、（2）新キャンパス体制での学生生活支援体制
- 5）社会貢献活動の新たな展開：（1）九大スターの社会への積極的PR活動、（2）新構想による学外講演シリーズ

3．新キャンパス・情報政策

- 1）新キャンパス開校（10月）新キャンパス情報発信拠点「BigOrange」運用開始（1月）新キャンパス生活支援施設及び学生寄宿舍の着工
- 2）病院地区総合研究棟改修（9月までに着工）
- 3）九重山の家全面改修（10月使用開始）
- 4）新キャンパスと既存キャンパス間の遠隔講義・会議システムの運用開始
- 5）PIDシステムによる多機能ICカードの実証実験開始
- 6）全学共通認証システムの導入
- 7）e-learning推進（教材開発を含めて）
- 8）情報基盤センターによるホスティングサービスの開始

4．産学連携・知財政策

- 1）産学連携推進体制の一層の強化・効率化推進（一元化、財政基盤の強化）
- 2）組織対応型（包括的）連携の推進（産業別連携、支援体制の整備）
- 3）国際産学連携の推進（上海交通大学との連携・シュタインバイス財団との連携）
- 4）アジアデザインライセンス組織（DLO）の立ち上げと業務具体化（国・県・市・企業連合との連携、目的・目標の具体化）
- 5）地域との連携推進（政策実現への協力、研究コンソーシアムの結成）

5．国際交流

- 1) 「アジア総合政策学センター」(仮称)の設立・運営
- 2) 実践的外国語習得のためのプログラムの作成・実施
- 3) 留学生の就職先の確保
- 4) 第5回アジア学長会議のフォローアップ(共同カリキュラム、若手研究者養成プログラムの具体化)
- 5) 大学国際戦略本部強化事業(文部科学省)への参画

6．広報・図書館

- 1) 広報活動の充実：(1)九大広報の特集号化、(2)九大ポスターの定期的作成
- 2) 百周年記念事業計画の制定：(1)募金体制の構築・確立、(2)九大百年史の編集着手
- 3) 元岡理系新図書館の整備・充実
- 4) 大学文書館の改組・充実及び記録資料館の設置・充実
- 5) 同窓会組織の拡充、特に福岡同窓会設立総会の開催

7．大学構造改革

- 1) 事務組織・仕事の仕組みに関する改革
- 2) 附属病院の改革
- 3) 財務管理・資産管理の仕組み作り
- 4) 中長期研究戦略
- 5) 方針展開の仕組み作り(構造改革マニュアル作り)

8．財務・事務組織

- 1) 旅費の支給時期の早期化等、旅費支給手続きの改善
- 2) 財務会計システム、病院会計管理システムの円滑な運用
- 3) 病院経営改善策の確実な遂行の支援
- 4) 事務系職員の評価制度の施行
- 5) 年俸制による雇用制度の検討・実施